

2026.9.14

< 配信枚数 2 枚 >

報道関係者 各位

■開催案内■

**社会人向け GX 人材育成プログラム
「GX プロフェッショナル+R プログラム」開講**

立命館大学(所在地:京都市中京区、学長:仲谷善雄)は、文部科学省が実施する「産学連携リ・スキリング・エコシステム構築事業」に2年連続で採択されました。これを受け、2026年9月15日より「GX プロフェッショナル+R プログラム」を開講します。

本プログラムは、脱炭素社会の実現に向けて企業・自治体・社会に求められるGX(グリーントランスフォーメーション)を、環境対応や算定業務にとどめず、企業の成長戦略や経営判断に結び付け事業に「実装」できる高度専門人材の育成することを目的としています。

GXに関する「基礎理解」「実装」「経営判断」の3つの観点から、企業ニーズを踏まえた4つのプログラムを設置し、基礎から経営レベルまで幅広い層に対応した教育を提供します。また、民間企業との協働を通じて、継続的に知識をアップデートできる学びの環境とネットワークを構築し、GXを実践的に推進できる人材の育成を目指します。

今年度は、昨年度の取り組みをさらに発展させ、新講座「GX ライフサイクル思考特別講座」を新設し、講座のオンライン化や合宿の導入など、教育内容の充実を図ります。加えて、株式会社パソナデータ&デザインとの協働により、リ・スキリングの実践・実装につながるプログラムとして一層の強化を図ります。

記

日 時 : 2026年9月15日(火)から開講

対 象 : 社会人(GXに関する基礎理解、事業活用、組織変革、経営推進といった各役割を担う人材を想定。)

サイト URL : <https://www.ritsumei.ac.jp/open-univ/gx-pro/>

主 催 : 立命館大学 社会連携課

※詳細は別紙をご覧ください。

以上

本リリースの配布先: 京都大学記者クラブ、草津市政記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブ、
文部科学記者会、環境省記者クラブ

●プログラム・講座についてのお問い合わせ先

立命館大学 社会連携課 担当: 菰方、岡本、澤根

TEL:075-813-8288 Email:acr02@st.ritsumei.ac.jp

●取材についてのお問い合わせ先

立命館大学 広報課 担当: 西田

TEL:075-813-8300 Email:r-koho@st.ritsumei.ac.jp

全国（GXエッセンシャル、GXライフサイクル思考特別講座）

全国・関西（GX-BCR、GX経営）



立命館大学：GXプロフェッショナル+Rプログラム

プログラム概要

① 名称

- GXプロフェッショナル+Rプログラム

② 目的

- GXを環境対応や算定業務にとどめず、企業の成長戦略や経営判断として事業に「実装」できる高度専門人材の育成。

③ 対象者層

- GXに関する基礎理解、事業活用、組織変革、経営推進といった各役割を担う人材を対象とした4層を想定。

④ 育成対象の課題・目指す姿

- GXやLCAに関する知識や技術的な蓄積を有している一方で、それらを横断的に統合し、規制対応と成長戦略を一体的に整理・実行する力には、さらなる強化の余地がある。
- 自社課題に基づくアクションプランの策定と社内実装を通じて、GXを事業創出や投資判断などの経営戦略として推進し、企業価値向上や事業成長に貢献できる。

⑤ 学修成果

- 気候変動・カーボンニュートラルおよびGXの基礎を業務に活用する能力、LCA・LCTに基づき事業戦略に反映する能力、自社の強みを活かしたGX関連の事業創出や提案を行う能力、ならびに経営視点で脱炭素に向けた変革を推進する能力をそれぞれ身につける。

カリキュラム内容

⑥ カリキュラム特徴

- 企業ニーズを踏まえた4層でのプログラム

- GXの「基礎理解」「実装」「経営判断」といった観点で整理し、それぞれに最適な提供形態と定員規模を設定した4つのプログラムを設置。限られた教育資源を効果的に活用しつつ、幅広い産業分野への波及効果と、実践的・高度な人材育成の両立を図る。

- 継続的な知のアップデートとネットワーク構築

- 修了後も産学連携組織（日本バイオ炭コンソーシアム）および研究組織（日本バイオ炭研究センター）と連携し、受講生同士や教員とのつながりを維持しながら実装に向けた継続的な支援を実施。

- 民間企業との強力な協働

- 人材サービス大手の淡路島に本社移転したパナグループと協働し、関西でのリスキリングを通じた雇用創出、企業ニーズの継続的な把握とプログラムへの反映を図るエコシステムを構築。

⑦ アピールポイント

- 修了者にはデジタルバッジを発行予定

- 全講座一定の修了要件（受講やアクションプラン提出等）を満たした受講者にはデジタルバッジを発行する。保有スキルの社内外での可視化が可能で、キャリアアップや人材配置・評価の基盤としての活用が可能。

今後予告なく変更の可能性有り

1

全国（GXエッセンシャル、GXライフサイクル思考特別講座）

全国・関西（GX-BCR、GX経営）



立命館大学：GXプロフェッショナル+Rプログラム

プログラム詳細

⑥ 受講料

- GXエッセンシャル：学生 無料／一般 第1回～第10回は1,000円／回、一括申込みは8,000円
- GXライフサイクル思考特別講座：50,000円
- GX-BCR：25,000円
- GX経営：50,000円

⑦ 受講人数

- GXエッセンシャル：500名
- GXライフサイクル思考特別講座：20名
- GX-BCR：20名
- GX経営：20名

⑧ 受講時間数

- 全6回～10回 ※詳細はHPより

⑨ 開講時期・所要期間

- GXエッセンシャル：9-11月・60分/回
- GXライフサイクル思考特別講座：11-1月・60分/回
- GX-BCR：11-1月・90分/回
- GX経営：11-2月・90分/回

⑩ 社会人の学びやすさへの配慮

- 業務負担を抑えつつ学習効果を高めるため、オンデマンド、オンラインと対面（ハイブリッド）、さらに「一泊二日の短期合宿」を組み合わせた柔軟な受講形態を導入。
- LMS（学習管理システム）を活用した教材の事前提供や、要件の選択制、匿名質問導線などを整備。
- 申込時点で全日程や各回の準備物の見通しを提示し、業務調整の負担を軽減。

⑪ 実施形式

- GXエッセンシャル：オンデマンド
- GXライフサイクル思考特別講座：オンデマンド+リアルタイムオンライン（質疑応答）
- GX-BCR：対面・オンライン＋一泊二日の短期合宿形式（ワークショップ）
- GX経営：対面・オンライン＋一泊二日の短期合宿形式（ワークショップ）

⑫ シラバス

- GXエッセンシャル：気候変動のメカニズム、日本のGX関連制度、ESG金融、地域でのカーボンニュートラル等
- GXライフサイクル思考特別講座：LCTとLCA、LCTとフットプリント・Scope3、サプライチェーン認証、LCTの事業への適用等
- GX-BCR：環境価値の創造、バイオ炭による炭素除去、バイオ炭のMRV、地域エコシステムの実践、自社アクションプラン作成等
- GX経営：GXと経営戦略、環境経営（GHG排出量可視化）、自然資本と炭素クレジット、GXとDX、自社アクションプラン作成等

申込方法・サイトURL

- 右のQRコードもしくは下記サイトから申し込み
<https://www.ritsumei.ac.jp/open-univ/gx-pro/>



担当連絡先

- 立命館大学 社会連携課
Mail：acr02@st.ritsumei.ac.jp

今後予告なく変更の可能性有り

2

▼ 参考

GXプロフェッショナル+Rプログラム

<https://www.ritsumei.ac.jp/open-univ/gx-pro/>

学びのプラットフォーム MIRAI

<https://www.ritsumei.ac.jp/open-univ/>